

12月30日 聖家族

神の保護

マタイによる福音書 2 章 13～15、19～23 節

¹³ 占星術の学者たちが帰って行くと、主の天使が夢でヨセフに現れて言った。「起きて、子供とその母親を連れて、エジプトに逃げ、わたしが告げるまで、そこにとどまっていなさい。ヘロデが、この子を探し出して殺そうとしている。」¹⁴ ヨセフは起きて、夜のうちに幼子とその母を連れてエジプトへ去り、¹⁵ ヘロデが死ぬまでそこにいた。それは、「わたしは、エジプトからわたしの子を呼び出した」と、主が預言者を通して言われていたことが実現するためであった。

¹⁹ ヘロデが死ぬと、主の天使がエジプトにいるヨセフに夢で現れて、²⁰ 言った。「起きて、子供とその母親を連れ、イスラエルの地に行きなさい。この子の命をねらっていた者どもは、死んでしまった。」²¹ そこで、ヨセフは起きて、幼子とその母を連れて、イスラエルの地へ帰って来た。²² しかし、アルケラオが父ヘロデの跡を継いでユダヤを支配していると聞き、そこに行くことを恐れた。ところが、夢でお告げがあったので、ガリラヤ地方に引きこもり、²³ ナザレという町に行き住んだ。「彼はナザレの人と呼ばれる」と、預言者たちを通して言われていたことが実現するためであった。

他の朗読：コヘレト 3:2～6, 12～14 詩編 128:1～5 コロサイ 3:12～21

Lectio …読む

主の天使が夢の中でヨセフに話しかけたのは、東方の三博士の訪問がマリアとヨセフの記憶にまだ新しい時でした。今度は家族が危険にさらされているので国を離れるように警告します（東方の三博士の訪問については次の主日にもっと詳細に見ていきます）。

ローマ人に代わって統治していたヘロデは、心配していました。ヘロデの支配は厳しく、彼の統治に対して少しでも反発の匂いがあれば、すぐに行動を起こしました。今回は若い王たち—即ち東方の三博士—によって伝えられた、生まれたばかりの子どもを殺そうと狙っています。

神が聖なる家族のためにとりなしをします。彼らはエジプトへ逃げるのです。それは、数百キロもの旅です。家族はその夜急いで住んでいたところを離れ、エジプトでヘロデが死ぬまで静かに住むこととなります。

神はそれから再び天使を遣わして、ヨセフに故郷に戻るよう伝えます。ヨセフは従い、直ちにパレスチナに向けて出発します。

しかし、道すがらヨセフは、ヘロデの王国は分裂したが、ヘロデの更に残忍な息子たちの一人であるアルケラオが今やユダヤを支配していることを知ります。ヨセフは神経質になり、何をなすべきか不安でした。

三度目の夢に助けられて、ヨセフはナザレの小さな町に行く決心をします。ナザレはガリラヤ北部の村で、ヘロデ・アンティパスによって支配されています。このヘロデ・アンティパスが後に洗礼者ヨハネの首をはねるのです。

更に2つの預言が、ヨセフの神への従順によってなしとげられました。イエスはイスラエルの民と同様に、ホセア 11 章 1 節の「エジプトから彼を呼び出し、わが子とした。」という預言の通りに、エジプトでの流浪から呼び戻されました。マタイはまた、預言の重要性はイエスがナザレで育てられることにあると考えています。マタイの頭には、ナザレに音の似たヘブライ語の「ナヅル (נָצַר) 」について書かれた士師記 13 章 5～7 節やイザヤ 11 章 1 節があるのかも知れません。イザヤ 11 章 1 節では「枝」の意味でナヅルと言う語が使われています。イザヤは、新しい枝は（ダビデの父）エッサイの根から

成長するであろうと言っています。新しい始まりがダビデの王家から生じ、解放と救いをもたらすのです。イエスはこの解放と救いをご自分に従う人々に与え、また今も与え続けているのです。

Meditatio …黙祷する

マリアとヨセフはエジプトに着き、新しい家庭、仕事、収入を見つけるのに取りかかったとき、どのように感じたと思いますか。このことから何を学ぶことができますか。

神は人類の歴史を決定づけるような特別な指示をヨセフに与えました。神は今日、どのような形で介在しているとあなたは感じるでしょうか。

あなたが神の保護と導きを経験した時のことを考えてみましょう。

あなた自身から出た良い思いつきと、あなたを導く神からの言葉を、あなたはどのように識別していますか。

Oratio …祈る

詩編 128 編は主を恐れ、主に従うように私たちに勧めています。この畏れは怯えることではなく、神の本質に対しての尊敬と畏怖です。神があなたを導くことができるように、あなたが神に対してしなくてはならない大小の決心をいくつか思い出してみましょう。神の語りかけに従って行動できるよう、聖霊に助けを願いましょう。

もう少し時間を取って、今日はあなたの家族のために祈りましょう。

Contemplatio …観想する

コロサイ 3 章 12 ~ 21 節は「関わり」について述べています。最初に神との関わり、それから私たちの家族との関わり、そして他の人々との関わりについてです。少し時間を取って、これらの節について思いを巡らせ、そして神にこの言葉を通して語りかけてもらいましょう。